

ふさととくぢ



出雲 あゆのつかみどり



神楽「八岐大蛇 (やまたのおろち)」 八坂



島地 徳地フラと子どもたちのフラダンス



串 カラオケ

目次

里山だより・とくぢ6校つうしん…2P

とくぢで輝く・フォトギャラリー…3P

行政だより…4P

行事カレンダー・図書館だより…5P

総合支所情報局

とくぢ通い雑感・スマホでなぞ解き…6P

◎人 □
5,044人
◎世帯数
2,685帯

(2023年7月末現在)



表紙の写真から



さんさ踊りの様子 (串)

コロナ自粛や悪天候で何年もできなかった夏まつりを、今年も5地区すべてで開催することができました。

どの地区も熱気いっぱいのお祭りムードで大変盛り上がりしました。

やっぱり日本の夏はまつりですね！

(投稿：地域づくり協議会)

聞き書き甲子園 徳地フォーラム



森・海・川の名人が持つ知恵や技術、そして人生そのものを高校生が記録する「聞き書き甲子園」。昨年、徳地の7名の名人から7つの作品が完成しました。

先日、作品を生んだ7名の高校生が徳地文化ホールに集結し、フォーラムが開催されました。名人から学んだことや彼ら目線の徳地の姿は興味深く、時には地元高校生の司会者が逆に質問される場面などもあり、絶えずうなずきや笑いが起こっていました。

(徳地地域交流センター)

佐波川 川遊び



8月6日(日)、出雲合橋付近の佐波川で、徳地の小・中学生と徳地商工会青年部が川遊びを行いました。

楽しい時間はあっという間で、キラキラと輝く子供達の笑顔が印象的でした。

(取材：徳地づくり達人塾)



とくち6校つよしん

徳地中学校 中央小学校 島地小学校 八坂小学校 串小学校 袖野小学校

徳地中学校では、7月27日、28日に徳地発の国際交流『徳地イングリッシュキャンプ(TEC)』を行いました。

徳地中学校の生徒、徳地地区の小学生が参加し、徳地在住の海外出身の方や山口市国際交流員の方、更にはオンラインでネパールの子供たちと交流を行いました。



とくちで輝く

次世代を照らす徳地の希望

島地タクシー代表取締役社長
則安聡一郎さん



■徳地の公共交通

5年前に引き継いだ島地タクシーは、平和タクシーの子会社として経営されています。島地タクシー引き継ぎの背景には、後継者不足の問題がありました。会社や仕事は存在するものの、それを継ぐ人がいないという現実に向直してしました。

島地タクシーは、徳地生活バスの運営にも携わっており、現在は5路線での運行が行われています。これは地域の移動手段としての役割を果たすだけでなく、住民にとっての安心感を提供しています。

公共交通の未来について、「採算がとれなくなると、外

の事業者はいなくなり、元の企業が支えることが必要になる」「規模を縮小しても、やめる気はない」という話を通して、徳地の公共交通の未来に対する熱意と、それを支える地域住民や事業者の存在の重要性を強く感じます。

■商工会青年部

加えて、商工会青年部の部長として地域のための活動にも従事しています。則安さんが青年部に入った理由は、徳地を愛し、何か貢献したいという想いからでした。「青年部は損得で動いている組織ではない」というお話の通り、全員が地域のために楽しんで行動しています。

青年部長としての初めての取り組みは、重源上人生誕900年を記念した、いかだ下りの活動でした。多くの活動が制約を受けていた中、何も行わないと地域が衰退してしまうという危機感から実施に踏み切りました。その背景には「面白いと感じること、それが行動の原動力になる」という則安さんの信念がありました。さらに、青年部はイ

ルミネーション（とくち行つて美夜）の実働部隊など、多くの場面で存在感を示しています。



■徳地の未来

青年部部長としての任期は3年間。その間に「次世代の育成が欠かせない」と、若手の育成にも力を入れていきます。OBとしての活動も視野に入れ、地域の繋がりや交流をこれからも継続していく意向です。「下の世代がやりやすい環境を整え、そこでどのようにに地域を盛り上げていくか、それを考えるのが我々の役割」と語るその姿勢は、徳地の未来を明るくする希望の一つと言えるでしょう。

（取材：河上特派員）

フォトギャラリー



雨降らないかなあ…。



4年ぶりにお目見え



新山口駅自由通路の緑は徳地の森から

行政犬より

9月は「世界アルツハイマー月間」です

毎年9月21日は認知症の理解を呼びかけるため「世界アルツハイマーデー」とされています。

認知症は誰もがなり得る身近な病気です。この機会に個人で、家庭で、地域全体で認知症について考えてみませんか？徳地地域で行っている取り組みをご紹介します。



認知症を支える家族の会「やすらぎの会」

認知症の人を介護する家族やOBが集まり、介護の相談や情報交換等を行っています。同じ悩みを分かち合い、声に出すことで、少しでも気分を楽にしてみませんか？

日時：毎月第3水曜日 13時30分～15時

場所：徳地地域交流センター1階 講座室

参加費：無料

「徳地のえんがわカフェ」

認知症の人とその家族、地域の人や認知症について知りたい方など、誰もが気軽に参加でき、情報交換や交流する場です。

日時：毎月第2木曜日

13時30分～15時30分

場所：徳地岸見853（超勝寺内）

参加費：100円（飲食代含む）

「認知症サポーター養成講座」

認知症に関する正しい知識と理解を身に付け、認知症の人や家族を温かく見守る応援者である「認知症サポーター」を養成する講座です。認知症について正しく理解し、自分や家族、地域のためにできることを一緒に考えてみませんか？

概ね10名以上のグループでお申し込みできます（地域の団体、職場、学校など、どなたでも受講可能です）。

「徳地図書館の認知症コーナー」

9月のアルツハイマー月間に併せて徳地図書館にて、「認知症コーナー」を設けています。認知症に関する書籍やパンフレット、市の認知症関連事業のちらし等を掲示しています。来館された際は、ぜひ手に取ってご覧ください。

徳地地域巡回健康相談を開催します！

「体のことでちょっと聞いてみたいことがあるんだけど…」「健康にいい食事ってどうしたらいいの？」など健康づくりに関することを気軽に相談できる健康相談会を開催します。

肺がん（結核）検診に合わせて地域を巡回します。お気軽にお越しください。

日時及び場所

令和5年

10月17日（火）

10時00分～10時20分 申 遠内二区消防車庫

13時20分～13時30分 島地 立石集会所

13時50分～14時10分 島地 藤木老人憩いの家

10月18日（水）

10時25分～10時35分 柚野（旧）農協野谷取次所

10時50分～11時30分 八坂 下庄集会所

14時55分～15時10分 八坂 夏焼上バス停横

10月19日（木）

9時00分～9時20分 出雲 二の宮集会所

10時30分～10時50分 出雲 生活改善センター（麻生）

11時05分～11時25分 出雲 いいとこ徳地（伊賀地）

14時20分～14時40分 出雲 深谷十三仏公園

内容

健康相談、血圧測定など。場所によっては自律神経測定、肌年齢測定を実施します。

担当

徳地保健センター 保健師

料金

無料

※申込み不要

問合せ先

山口市徳地保健センター ☎52-1114 FAX 52-0444

問合せ先

山口市基幹型地域包括支援センター徳地分室

（徳地地域複合型拠点施設内）

☎52-0670 FAX52-0444

行事カレンダー

(9月15日～10月14日)

| | | |
|-----|----------|--------------------------|
| 9月 | 17日 | 串地区敬老会 (串小学校体育館) |
| | 20日 | 認知症家族会 (やすらぎの会) |
| | 23日 | 出雲地区敬老会 (徳地文化ホール) |
| | 24日 | 出雲地区ラジオ体操・ウォーキング |
| | 30～10/1日 | 親子で水登りキャンプ～森のレスキュー隊! |
| | 10月 | 1日 |
| 1日 | | 集団検診 (島地分館) |
| 3日 | | 集団検診 (八坂分館) |
| 5日 | | 集団検診 (徳地文化ホール) |
| 8日 | | 柚野の小さな花火大会 |
| 9日 | | 心身ととのう森林浴ツアー |
| 10日 | | 憩いステーションとくち (徳地地域交流センター) |
| 12日 | | 健康相談 栄養相談併設 (徳地地域交流センター) |

◆◇図書館だより◇◆ ☎52-0043

【新しく入った資料】

- ◎文学 ハンチバック / 市川 沙央
- ◎一般書 水谷豊自伝 / 水谷 豊, 松田 美智子
- ◎実用書 胃を切った人のための毎日おいしいレシピ 250 改訂版
- ◎文庫 40℃超えの日本列島でヒトは生きていけるのか / 永島 計
- ◎ティーンズ 10代のための疲れた体がラクになる本 / 長沼 睦雄
- ◎物語・児童書 学校の怪談大辞典 令和新装版 / 日本民話の会学校の怪談編集委員会
- ◎絵本 ポンパルボン / キューライス
- ◎CD WE♥韓ドラ OST ヒッツ・コレクション
- ◎DVD ドライブ・マイ・カー

【企画展示】

- ◎今月のテーマ 電波にのせて
- ◎絵本 伝記・ノンフィクション
- ◎一般 江戸のアレコレ
- ◎児童・ティーンズ ようこそ! 音の世界へ

【お知らせ】

・徳地歴史講座 (第8回)
 演題: 松下村塾四天王 入江九一と徳地 ～正義派たちの幕末徳地とは?～
 日時: 9月16日(土) 10時～12時
 会場: 山口市立徳地図書館 視聴覚室
 講師: 山田 文雄 氏 (徳地史談会 会長)

休 図書館 9月 / 18・19・23・25・28
 休館日 10月 / 2・9・10

子育て支援センター すくすくハウス予定 ☎52-0662

- 9月15日 (金) 作ってあそぼう (ファミリーデー製作)
- 22日 (金) 誕生会
- 10月13日 (金) ミニミニうんどう会

総合支所情報局

キッズコーナーの利用について



徳地地域複合型拠点施設には、お子様連れでも気兼ねなく安心してご来庁いただくため、セントラルロビーにキッズコーナーが設置されています。キッズコーナーには、商工会青年部からの寄贈により、お子様が退屈しないように絵本や玩具が取り揃えられていますので、ぜひご利用ください。

徳地総合支所 土木課
☎52-1112

+ 休日・夜間診療のご案内 (防府市内)

- * 山口市内は市広報に掲載しています。どちらも利用できます。
【内科・小児科】 (受付 8:30～11:30、13:00～16:30)
 防府市休日診療所 (鞠生町) ☎0835-24-4172
【歯科】 (受付 8:30～11:30)
 防府市休日診療所 (鞠生町) ☎0835-24-4172
【外科】 当番医療機関 (診療 9:00～17:00)
- | | | |
|-----------|--------------------|----------|
| 9月17日 (日) | 寿町クリニック (寿町) | ☎27-5577 |
| 18日 (月) | 緑町三祐病院 (緑町) | ☎22-3145 |
| 23日 (土) | うちみち脳神経クリニック (石が口) | ☎27-5880 |
| 24日 (日) | くらしげ整形外科クリニック (田島) | ☎25-0076 |
| 10月1日 (日) | ながみつクリニック (中央町) | ☎20-1230 |
| 8日 (日) | 緑町三祐病院 (緑町) | ☎22-3145 |
| 9日 (月) | 三田尻病院 (お茶屋町) | ☎22-1110 |

【夜間救急病院】 (平日、休日にかかわらず)

| 病院名 (場所) | 電話番号 | 9月・10月の開設日 | | | | | | |
|--------------|-----------|------------|----|----|----|---|----|--|
| 松本外科病院 (天神) | ☎ 22-1409 | 15 | 20 | 25 | 30 | 5 | 10 | |
| 防府胃腸病院 (駅南町) | ☎ 22-3339 | 16 | 21 | 26 | 1 | 6 | 11 | |
| 桑陽病院 (車塚町) | ☎ 23-1781 | 17 | 22 | 27 | 2 | 7 | 12 | |
| 緑町三祐病院 (緑町) | ☎ 22-3145 | 18 | 23 | 28 | 3 | 8 | 13 | |
| 三田尻病院 (お茶屋町) | ☎ 22-1110 | 19 | 24 | 29 | 4 | 9 | 14 | |

スマホでなぞ解き

～徳地をとく～

先月の「徳地をとく」はお楽しみいただけましたか？実際に足を運ぶことで、新しい発見があると嬉しいです。

まだ挑戦していない方は先月号のキーワードと、4月号の「重源上人からの挑戦」もチェックしてみてください。

では、今月のキーワードを入力して続きをお楽しみください。今月号からでも楽しめるので、QRコードを読み取って、「徳地をとく」を友達追加してください。

今月の場所は、日本の原風景が残るあの場所です。



↑重源上人からの挑戦

【キーワード】
ユノキ



↑スマホでQRコードを読み取って、謎解きスタート！

*LINEアプリ及びアプリ内での友達追加が必要です



写真や情報をお寄せ下さい

地域の景色や行事など、あなたの知っている徳地の素敵など、**人・モノの写真や情報を徳地地域づくり協議会**まで情報をお寄せください。

※人物が主題の写真は必ず承諾を得てください。
※頂いた写真等は徳地地域づくり協議会で管理し「ふるさととくち」のほか「徳地地域づくり協議会 HP・FB」でご紹介させていただきます。



←二次元バーコードを読み取り、アドレス入力してメールできます



はっコラム

とくち通い 雑感

文化財関係の仕事で、徳地へ頻繁に足を運ぶようになったものの、市役所在職中、指定文化財のある場所以外へはほとんど訪れる機会がありませんでした。

仕事を辞めて、月1回の徳地ガイド講座に参加するようになってから初めて知った場所もたくさんあります。その一つが三谷地区です。正直に白状すると、JR山口線には阿東地域に「三谷駅」があるので、三谷といえば阿東だと思っていました。

しかし、ガイド講座で東大寺再建がテーマになると、「三谷」の地名は繰り返し耳に入ってきました。そして、重源上人が巨木を切り出した中心地の1つとして、さまざまな逸話を今に伝えるこの地区周辺は、いつしか私にとって憧れの場所になりました。

ついに三谷地区へ足を踏み入れる機会を得たのは、昨年の5月です。以前三谷に住んでおられて、この地の歴史に詳しい方にご案内いただきました。

初めての三谷は、用材調達事業にまつわる史跡もちろん興味深いものでしたが、何よりも驚いたのは棚田や塀をはじめとする圧倒的な石積みの光景でした。それらが、奥へ奥へと進んで行き、もう終わりだろうと思った先にもさらに現われてきて、そして滅多に訪れる人もいないはずなのに、美しく手入れされていることに胸を打たれました。かつて三谷地区を「桃源郷」と表現した方がいらっしゃると教えていただきましたが、まさにこの地にふさわしい言葉だと感じました。

その後、徳地の方たちと一緒に2回にわたる日帰りツアーを催行し、三谷には外からの来訪者を温かく迎え入れてくださる方の多いことを知りました。

一方、高齢化・人口減少が激しく進んでいるなかで、この光景、この文化を次の世代へつないでいくために、旅行業の私にできることは何なのか、自問自答が続いています。



(執筆：丸本華代)